

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

3月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ インフルエンザ 報告数93件(前月比0.1、前年比0.1)と12月の6,509件をピークとして減少しています。前月比、前年比ともに0.1でほぼ終息に向かっていると思われる。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数1,751件(前月比0.51、前年比0.47)で前月比、前年比ともに半減しています。12月の11,259件をピークに減少傾向です。インフルエンザおよび感染性胃腸炎の減少が大きな要因です。昨年1年間でほぼ3,000~5,000件台で推移しており、新型コロナウイルス対策として、学校の閉鎖、外出の自粛、手洗い、うがい、マスクの励行などにより感染症自体が減少していることが推測されます。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数47件(前月比0.9、前年同月比0.3)とほぼ例年通りの推移です。1歳児を中心としてほぼ2歳以下の報告です。例年このまま減少し、7月頃より増加に転じています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数71件(前月比0.5、前年比1.0)と、昨年並みの動きで減少していますが例年、夏に向け若干増加傾向があります。1歳が24件の報告ですが幅広い年齢分布です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数424件(前月比0.9、前年比0.9)です。ほぼ昨年と同様の推移です。4-6歳を中心に多いようです。宇城(定点あたり19.75)、有明(同13.20)、に多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数584件(前月比0.6、前年比0.4)と例年と比較してかなり減少しています。年齢では1歳-5歳を中心に幅広く報告されています。山鹿(定点あたり26.50)、菊池(同22.2)、有明(同20.60)からの報告が多いです。
5. 水痘 : 報告数85件(前月比0.6、前年比1.0)と、2月の報告が多かったですが、例年同様の推移です。5-6歳を中心に幅広く報告されています。
6. 手足口病 : 報告数67件(前月比0.7、前年比0.4)と昨年6月をピークに減少しています。例年通りこれから夏に向けて増加していくと予測されます。1-3歳を中心に多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数107件(前月比0.5、前年比1.7)と、1月をピークに減少傾向です。3-6歳を中心に報告があります。
8. 突発性発疹 : 報告数92件(前月比1.0、前年比0.7)と、例年と比較しやや少なめで推移しています。発症のピークは1歳にあります。
9. ヘルパンギーナ : 報告数14件(前月比0.6、前年比0.3)と例年同様の推移です。例年7-8月のピークに向けて今後増加傾向に転じます。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数5件(前月比0.3、前年比0.2)と昨年11月からの低水準が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 26 件(前月比 0.7、前年同月 0.3)と減少しています。新型コロナウイルス感染予防のための外出制限、学校休校等が影響していることも予想されます。熊本 18 件、菊池 2 件、八代 1 件、有明 5 件の報告です。年齢別では 20-49 歳にピークがあり、3 歳以下の乳幼児層では報告数 0 です。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 62 件(前月比 1.1、前年同月比 1.2)で、前月比、前年同月比とも微増しています。男女別は、男性 33 件、女性が 29 件でした。年齢別では、男女共には 15~69 歳と幅広い年齢層にみられました。地区別では、熊本が 46 件と圧倒的に多く、次いで有明が 6 件、御船が 4 件、菊池が 3 件、宇城が 2 件、八代に 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 19 件(前月比 0.9、前年同月比 1.0)で、前月比、前年同月比とも著変ありませんでした。男女別は、男性が 10 件、女性は 9 件でした。年齢別では、男性が 20~59 歳、女性は 20~44 歳にみられています。地区別は、熊本が 12 件と多く、次いで菊池に 3 件、宇城に 2 件、八代と有明に 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 11 件(前月比 1.0、前年同月比 0.9)で、前月比前年同月比ともに著変なく、男女別では、男性が 7 件、女性が 4 件でした。年齢別では、男女共に 15 歳~70 歳と幅広い年齢層にみられています。地区別では、10 件が熊本で、宇城が 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 11 件(前月比 1.8、前年同月比 1.0)で、前月比で増加しています。男女別では、全件が男性で、年齢別では 15~49 歳にみられました。地区別は、熊本が 10 件で、有明が 1 件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数 19 件(前月比 1.3、前年同月比 1.3)でした。1-4 歳が 1 件、15 件(79%)が 70 歳以上でした。熊本(定点当たり 2.4)、阿蘇(定点当たり 2.0)、人吉(定点当たり 2.0)が多く見られます。全体の累積としては昨年と同程度の発生です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数 0 件(前月 -2、前年同月 -2)でした。全体の累積としてはここ 2 年より少ない発生です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数 0 件(前月 ±0、前年同月 ±0)でした。過去一年で 2 件の発生です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数1件（前月 +1、前年同月 +1）でした。70歳以上、熊本からの報告です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月 -1、前年同月 -1）でした。ここ2年より少ない発生です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数12件（前月比 1.3、前年同月比 3.0）でした。人吉（定点当たり4.0）、天草（定点当たり2.0）から多い報告です。2歳以下が6件、50%を占めます。昨年9月より増加傾向が続いています。
4. クラミジア肺炎： 報告数1件（前月 +1、前年同月 +1）でした。70歳以上、熊本からの報告です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数0件（前月 -1、前年同月 -32）でした。

届け出対象感染症

指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	7件
1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	25件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： チクングニア熱	1件
	レジオネラ症	3件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	7件
	破傷風	1件
	百日咳	27件